

## 国立大学法人富山大学入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	令和5年7月7日(金) 事務局共通打合せ室(2)	
委員	委員長 大浦 清和(弁護士) 委員 梶谷 昭(公認会計士) 委員 沖村 実((一財)富山県建築住宅センター専務理事)	
審議対象期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日	
抽出案件(合計)	12 件	(備考) 今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。
建設工事(小計)	11 件	
一般競争入札 (政府調達に関する協定対象工事)	0 件	
一般競争入札 (上記工事を除く)	11 件	
工事希望型競争入札	0 件	
通常指名競争入札	0 件	
随意契約	0 件	
設計・コンサルティング業務(小計)	1 件	
公募型プロポーザル方式	0 件	
簡易公募型プロポーザル方式	0 件	
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	1 件	
標準型プロポーザル方式	0 件	
一般競争入札	0 件	
随意契約	0 件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

質 問	回 答
<p>1. 国立大学法人富山大学において発注した建設工事について（令和4年4月～令和5年3月分） （財務施設部より説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul> <p>2. 建設工事における抽出案件の審議 （財務施設部より説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・500万円超の工事が入札対象であり、1000万円を超えると総合評価落札方式の対象となるのか。</li> <li>・低入札価格調査中に辞退した場合、自動的に指名停止の措置を行うのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> <li>・そうである。</li> <li>・そうである。低入札価格調査中の辞退により、入札手続きに遅延が生じたことは本学の指名停止の基準に該当するため、指名停止措置を行った。</li> </ul>
<p><b>案件1；（杉谷）生命科学先端研究支援ユニット （動物実験施設）改修工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低入札価格調査における調査基準価格の算出方法は国土交通省の基準に基づくものであるか。</li> <li>・低入札価格調査中に入札金額の積算間違いが発覚することはあるか。</li> <li>・低入札価格調査における入札金額の理由について、根拠となる数値やデータを調査しているか。</li> <li>・予定価格や最低基準価格は公表しているか。</li> <li>・低入札価格調査を経て落札決定を出した工事に欠陥があった場合、業者にはどのような影響があるか。</li> <li>・工事監理についてはどのように実施しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そうである。</li> <li>・調査の過程で積算間違いが発覚することはある。その場合、入札した金額で履行可能であることが確認できれば落札決定するが、重大な積算間違いで履行できないことを理由に業者が辞退する場合もある。</li> <li>・資材の見積書など入札金額の低減が可能となった根拠資料を提出してもらい、裏付けを取っている。</li> <li>・事前公表はしていないが、契約締結後に公表している。</li> <li>・本学が業者に通知する工事成績評定の点数が低くなるため、今後の入札への参加等に影響を及ぼすと考えられる。</li> <li>・基本的には本学の技術職員が監督職員として工事監理を行っており、施工内容が設計図書と相違ないか確認している。</li> </ul>

質 問	回 答
<p><b>案件 2 ; (杉谷) 生命科学先端研究支援ユニット (動物実験施設) 改修電気設備工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低入札価格調査の対象が 3 者あるが、実勢価格に比べて予定価格が高いのではないか。</li> <li>・ 予定価格を算出する査定率を見直すことはあるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予定価格は物価資料や公共工事積算基準等に基づいて算出している。場合によっては、一部の資材等について本学で参考見積を徴収し、それに査定率を加味したものを実勢価格として採用し、予定価格に実勢価格を反映させる工夫をしている。しかし、労務や材料の単価、機材、工事規模等によっては、業者の入札金額がかなり低くなり得るため、本学の予定価格と差が生じる場合もある。</li> <li>・ 同様な低入札が続く場合、必要に応じて見直しを行っている。</li> </ul>
<p><b>案件 3 ; (杉谷) 生命科学先端研究支援ユニット (動物実験施設) 改修機械設備工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不落随契の見積合わせ中に辞退する場合はあるか。</li> <li>・ 不落随契は落札率が高い傾向にあるのか。</li> <li>・ 本工事の対象が特殊な設備を含む専門的な研究施設であったため、予定価格と当初の入札金額が大きく乖離したのだろうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ある。入札回数は電子入札システムにより原則 2 回までとしている。不落随契に移行する場合は、業者へ事前に落札意思があるかを確認の上、別日で電子入札システムによる見積を行っている。なお、見積回数に制限は設けていない。</li> <li>・ そうである。</li> <li>・ そうである。</li> </ul>
<p><b>案件 4 ; (杉谷) 国際交流会館外壁等改修工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低入札価格調査における入札金額の理由について、一般管理費など諸経費の削減の裏付けを確認する場合、どの程度詳細な資料を提出してもらおうのか。また、現場管理費等を低く見積もっている場合にはどのように対応しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 諸経費の金額については、入札書提出時に併せて提出される入札金額内訳明細書を基に、当初積算からの差額を示してもらっている。もし、特別重点調査の対象となった場合はより詳細な資料を提出してもらい、一層厳密に調査を実施する。しかし、低入札価格調査では、業者の説明内容に合理性があれば問題ないと判断している。</li> </ul>

質 問	回 答
<p><b>案件 5 ; (杉谷) 総合研究棟 (和漢医薬学系) 改修機械設備工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見積合わせを13回も行っているが、ここまで長引いたのはなぜか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競争参加資格申請のあった2者のうち、1者入札、1者辞退という状況で、2回の入札では入札金額が予定価格を下回らず、また金額の乖離が大きかった。その後の見積合わせでは業者が少しずつ見積金額を下げてきたため、見積回数を多く重ねることになった。</li> </ul>
<p><b>案件 6 ; 五福宿舎 3 号棟改修機械設備工事 (I 期)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事内容について、エアコン配管用スリーブの更新を含む模様替であるか。</li> <li>・電子入札システムの場合、業者は参加者数が分からないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そうである。</li> <li>・そうである。</li> </ul>
<p><b>案件 7 ; (杉谷) 総合研究棟 (和漢医薬学系) 改修電気設備工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入札不調となり再公告を行うということは、今回参加した業者は1回目の公告時と全く同じ業者が参加するという事か。</li> <li>・入札不調で再公告をした場合、1回目の公告時の情報を得て、予定価格を推測することは可能なのか。</li> <li>・落札業者は、1回目の公告時にも参加しているか。</li> <li>・落札率が高いのは偶然なのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そうではなく、仕様を見直し、再度別件として公告を行っているということである。</li> <li>・本件については、仕様を見直し、再度別件として公告を行っている。1回目の公告と仕様内容などが異なるため、予定価格を推測することは困難であり、公平性には影響しないと考えられる。</li> <li>・参加している。</li> <li>・偶然である。</li> </ul>
<p><b>案件 8 ; 附属病院医療情報部コンピューター室空調設備改修工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の低入札価格調査において、労務費や資材価格の妥当性および根拠はどのように調査しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本件では自社で施工が可能のため価格を抑えられるとのことであった。また、資材については、特定のものを扱う専門業者から仕入れることで低価格になる場合があり、今回もそれに当てはまるものと認識している。</li> </ul>

質 問	回 答
<p><b>案件 9 ; (高岡) F棟改修工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事内容に昇降機の新設を含んでいるか。</li> <li>・ 参加資格に昇降機の施工実績は求めているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 含んでいる。</li> <li>・ 求めている。建築一式工事の中に昇降機を含むことでコストが抑えられるため、本学ではそのようにして発注している。</li> </ul>
<p><b>案件 10 ; (高岡) F棟改修機械設備工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不落随契の相手方は、2回目入札時により低い入札金額を提示した業者を選定するということが良いか。また、不落随契の見積合わせ中に業者が辞退した場合、他の参加業者と見積合わせを行うことはあるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2回目入札時により低い入札金額を提示した業者を選定する。また、その者が見積合わせ中に辞退した場合は別の業者と見積合わせを行わず、不落という扱いになる。</li> </ul>
<p><b>案件 11 ; (五福) 共同利用棟改修電気設備工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 落札率がかなり低いが、太陽光パネル等の資材が影響しているのか。</li> <li>・ 本学における太陽光パネルの設置実績数はどの程度か。</li> </ul> <p><b>3. 国立大学法人富山大学において発注した設計・コンサルティング業務について (令和4年4月～令和5年3月分)</b> (財務施設部より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし</li> </ul> <p><b>4. 設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議</b> (財務施設部より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ そうである。</li> <li>・ 少数である。</li> <li>・ 特になし</li> <li>・ 特になし</li> </ul>
<p><b>案件 1 ; (高岡) 産学融合拠点新営設計業務</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設計・コンサルティング業務の業者選定では、価格は加味しないのか。</li> <li>・ 契約金額が予定価格より低いのは偶然なのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ そうである。企業の技術力や提出された技術提案書の内容から評価点が最も高い1者を特定し、その業者と見積合わせを行っている。</li> <li>・ 偶然である。</li> </ul>

質 問	回 答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような資料を提出してもらうのか。</li> <li>・見積合わせを行う業者は、他の競争業者はおらず1者特定であることを知っているか。</li> <li>・見積価格が予定価格を上回った場合はどうなるか。</li> <li>・予定価格を下回った場合、要因の分析は行っているか。</li> </ul> <p><b>5. 指名停止等の措置状況について</b> (財務施設部より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これは文部科学省から出されている指名停止等の措置状況の一覧ということか。</li> </ul> <p><b>6. その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul> <p>以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の業務実績やその図面、業務の実施方針、課題についての提案（イメージ図を含む A4 の書式等）を提出してもらう。</li> <li>・知っている。</li> <li>・予定価格を下回るまで特定された業者と見積合わせを行う。その業者が辞退した場合は、評価点が次順位の業者と見積合わせを行う。</li> <li>・行っていない。選定段階で企業の技術力や提案内容を確認しているため、問題ないと判断している。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省から発出されているものではあるが、他省庁の指名停止等の措置に倣って指名停止等の措置を講じているので、省庁間である程度共通性のあるものである。</li> <li>・特になし</li> </ul>